

明石市水道事業中期経営計画 令和5年度進捗状況報告について

明石市水道事業経営戦略（平成29年度～令和8年度）（以下「経営戦略」という。）の実行計画である明石市水道事業中期経営計画（令和3年度～令和8年度）（以下「中期経営計画」という。）について、令和5年度の進捗状況がまとまりましたのでその内容を報告します。

1 進捗状況

中期経営計画に掲げた実現方策（10方策）の令和5年度における進捗状況は、「極めて良好」が1件、「概ね良好」が6件、「やや遅延」が2件、「遅延・未実施」が1件となり、昨年度から1件の実現方策が1段階評価を落とす結果となりました。評価を落とした実現方策は、「鉛製給水管の解消」でした。

基本方針 [3]		施策目標 (6)	実現方策 《10》	評価
安全	[1] 安全・安心な水の供給	(1) 浄水水質の適正管理	《1》各浄水場の水質管理	極めて良好
		(2) 給水装置等の適正管理	《2》貯水槽水道設置者への助言	概ね良好
			《3》鉛製給水管の解消	遅延
強靱	[2] 災害に強い水道の構築	(3) 災害に強い水道システムの構築	《4》老朽管更新及び耐震管路網の整備	概ね良好
			《5》バックアップ機能の強化	概ね良好
持続	[3] 事業運営基盤の強化	(4) 広域連携の推進	《6》新規水源の開拓	概ね良好
		(5) 水道施設の効率的再構築	《7》魚住浄水場の再整備	やや遅延
		(6) 経営基盤の強化	《8》料金水準・料金体系の妥当性の確認	やや遅延
			《9》水道料金収納率の維持	概ね良好
			《10》民間活力の活用	概ね良好

2 経営状況

(1) 給水人口と配水状況

令和5年度の給水人口は、計画では横ばいを想定していたものの、人口の自然減少数を社会増加数が上回ったことにより、昨年度に引き続き約1,000人増加しました。

一方で有収水量は、実績値が計画値を上回っているものの、平成10年度以降の減少傾向が継続しており、給水人口と有収水量は逆相関関係となっています。これは、世帯人数の減少や生活様式の変化等により、1世帯当たりの水道使用量が減少していることに起因するものと想定しています。

	R3決算	R4決算	R5決算	R5計画
給水人口(人)	304,088	305,112	306,075	300,137
年間有収水量(千m ³ /年)	31,370	30,964	30,917	30,277

(2) 収益的収支

収益的収支については、収入、支出ともほぼ計画通りとなり、当年度純利益を約4億円確保することができました。

ただし、料金収入の減少を水道への新規加入時及び給水管の増径時に徴収する施設分担金並びに現金を伴わない収入である長期前受金戻入により埋め合わせている点に留意する必要があります。

(税抜・千円)

項目		年度				
		R3 決算	R4 決算	R5 決算 計画		
収益的 収支	収入	料金収入	5,041,718	4,969,890	4,982,634	4,997,445
		施設分担金	204,520	231,998	195,113	194,587
		他会計補助金	44,680	44,891	45,454	42,205
		長期前受金戻入	461,120	443,253	433,569	413,456
		特別利益	1,552	295	148	0
		その他	191,820	190,493	233,056	196,902
		計	5,945,410	5,880,820	5,889,974	5,844,595
	支出	人件費	414,414	387,987	393,369	440,583
		維持管理費 ※)	1,851,639	1,981,400	2,050,040	1,913,625
		受水費	1,078,411	1,087,910	1,102,386	1,081,440
		減価償却費	1,632,568	1,585,102	1,557,052	1,607,444
		支払利息	139,013	123,341	113,459	113,068
		特別損失	2,568	1,599	3,189	2,700
その他		194,108	250,296	254,743	274,212	
計	5,312,721	5,417,635	5,474,238	5,433,072		
当年度純損益		632,689	463,185	415,736	411,523	
繰越利益剰余金(△累積欠損金)		126,684	349,869	355,605	235,730	

※) 維持管理費＝動力費+薬品費+修繕費+委託料+路面復旧費

(3) 資本的収支

資本的収支については、各施設の整備・更新計画に基づき、水源転換に伴う施設整備、老朽施設の更新を図るとともに、水道施設・設備の機能保全、改良工事を実施しており、その財源としては、主に企業債からなる資本的収入を充て、不足する額は補填財源から全額補填しました。

なお、資金残高については、令和4～6年度で支払う計画だった阪神水道企業団への加入負担金を令和6，7年度の支払に変更となったことなどから、一時的に計画を上回っています。

(税抜・千円)

年 度		R3	R4	R5		
		決算	決算	決算	計画	
資本的 収支	収入	企業債	345,700	749,200	1,325,100	900,000
		他会計負担金	32,155	31,145	28,952	40,000
		国庫補助金	0	0	0	0
		その他	9,102	38,676	108,865	7,086
		計	386,957	819,021	1,462,917	947,086
	支出	建設改良費	1,186,977	1,254,237	1,998,905	1,695,319
		うち事務費	58,853	58,554	70,893	60,988
		企業債償還金	712,741	712,469	658,872	658,873
		阪水加入負担金	0	0	0	600,000
		その他	0	0	0	0
計	1,899,718	1,966,706	2,657,777	2,954,192		
収支差額		-1,512,761	-1,147,685	-1,194,860	-2,007,106	
企業債残高		6,652,020	6,688,751	7,354,979	7,434,977	
補填財源繰越額(資金残高)		5,471,972	5,986,868	6,406,889	4,606,956	

3 今後の取り組み

経営戦略の計画期間は終盤ですが、水道事業を取り巻く環境は厳しさを増し、今後の好転も見込めない状況です。そのような中でも水道事業を持続的に経営するためには、水道料金を適正化したうえで、経営基盤を強化することが喫緊の課題となっています。

そこで水道局では、令和6年度以降、経営基盤を強化するための方策も含めた、次期経営戦略及び中期経営計画の検討に着手します。

検討に当たっては、今後発足する「明石市上下水道事業経営審議会」において、学識経験者やさまざまな市民などとともに、幅広く議論を行います。また、審議会における検討状況等は、広報紙やホームページなどを活用して広く一般に公開するとともに、本委員会においても適時報告する予定です。

なお、次期経営戦略を策定するまでの間は、令和6年度以降も現行の中期経営計画に基づき、次表に示す取り組みを進めます。

これらの取り組みについては毎年度、進捗管理及び計画と実績との乖離検証並びに必要な見直しを行うことにより、水道事業の健全経営に繋がります。

基本方針	施策目標	取組内容
安全	浄水水質及び給水装置等の適正管理	<p>国における水質基準改正の検討状況等の動向を注視するとともに、最新の水質基準に適合した安全・安心な水道水を安定して市民に供給します。</p> <p>鉛製給水管については、解消に向けて引き続き取り組みを進めます。</p>
強靱	災害に強い水道システムの構築	<p>老朽管更新については、更新優先度を考慮しながら配水管の更新を進めます。</p>
持続	広域連携の推進	<p>明石川河川水からの水源転換については、県営水道の増量受水及び阪神水道企業団からの新規受水に係る事務手続きを進めるとともに、水運用上の関係機関との調整を実施します。</p>
	水道施設の効率的再構築	<p>魚住浄水場の再構築については、令和8年度の整備完了に向けて、改築更新を進めます。</p>
	経営基盤の強化	<p>水道事業経営の根幹である料金収入を確保するため、料金の確実な収納に引き続き取り組むとともに、料金改定も含めた経営基盤の強化について、「明石市上下水道事業経営審議会」において審議を開始します。</p> <p>また、民間活力の効率的な活用については、業務内容を精査し、より効率的な事業推進を図ります。</p>